

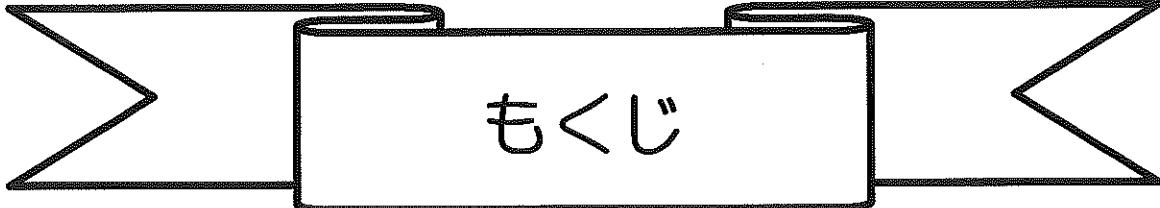
# 寺西

## 学びのスタンダード



年 組 名前

東広島市立寺西小学校



## もくじ

もくじ	1
1 授業の準備	2
2 話の聞き方	2
3 発表の仕方	3
4 教科書の持ち方	4
5 文字の書き方	4
6 ノートのとり方	5
7 授業が終わって	6
8 家庭学習の仕方	6
9 学習用具の整理の仕方	8
10 これだけは守ろう、学習マナー	9

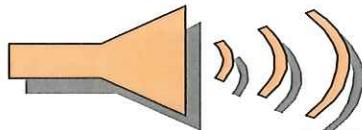
# 1 授業の準備

- チャイムの合図で、席につく。
- 休み時間に次の学習のじゅんびをする。  
(教科書・ノート・筆箱の置き方の約束)
- 冬の体育は、上着を脱いで学習しましょう。



【準備の仕方】

# 2 話の聞き方



低学年
○はっぴょうする人の方をむいてく。
○はっぴょうがおわるまでだまつてく。
○こたえがまちがっていたり、言葉方がまちがっていたりしては、うなづくなど、それなかったばあいには、「もういちど言ってください」「もう少し大きな声で言ってください」と、聞き直す。
○はっぴょうがおわったら、「同じです」「ほかにもあります」「つけくわえます」などとこえに出して言う。

## 中学年

- 自分の考えとの類似点や相違点を考えながら最後まで聞く。
- 発表中は、発表内容を確認しながら聞く。理解できる時はうなづくなど、発表者に態度で表現する。
- 分からぬときは、分かるまで聞き直す。



## 高学年

- 発表の中で大切なところは、ノートにメモする。
- 発表していることは、客観的事実なのか個人の意見なのかを考えながら聞く。

話し手の意図を考えながら、聞こう



### 3 発表の仕方

#### ○拳手するとき

背筋を伸ばし、相手をしつかり見つめ、腕は耳につけまっすぐ伸ばして拳げる。  
友だちの発表に対して、拳手するときには、「似ています」「他にもあります」「付け加えます」「質問があります」「言い換えます」「もっと簡単に言います」「違う意見です」「比較して言います」などの言葉で拳手する。

#### (1) 発表するとき

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>○なまえをよばれたら、元気よく「はい」とへんじをして立つ。</li> <li>○みんなの方を向いてみんなにきこえるこえではっきりとはっぴょうする。</li> <li>○はっぴょうしおわったあとに「みなさん、どうですか」といんをきく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聞いている人の顔を見ながら発表する。</li> <li>○黒板などを使って発表する場合には、「前に出て説明します」と言って、前で発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聞いている人の反応を見ながら、途中で「ここまで分かりますか」と確認しながら発表する。</li> <li>○代表で発表するときには、「グループで話し合ったことを発表します」などと言う。</li> </ul>

#### (2) 意見をつなげよう、考えを深めよう

低学年	中学年	高学年
<p>せすじをのばして、ゆっくり、はつきり、大きな声でまとめ~わけ ぼくは、はじめにことばをつかってささいに</p>	<p>語りかけながら話そう。 結論から話そう。</p> <p>「うそですね。」「うそです。」「うそではありません。」「うそではありません。」</p> <p>「うそです。」「うそではありません。」「うそではありません。」「うそではありません。」</p> <p>「うそではありません。」「うそではありません。」「うそではありません。」「うそではありません。」</p> <p>「うそではありません。」「うそではありません。」「うそではありません。」「うそではありません。」</p>	<p>相手を見て、わかりやすく話そう</p> <p>意見をつなげよう 考えを深めよう</p> <p>☆〇〇についてどう思いますか？ ☆ぼくは……だと思います。 ☆〇〇君の言いたいことは……ですね。 ☆〇〇さんの話を聞いて……がよく分かりませんでした。(……と思いました。) ☆〇〇くんとちがって……だと思います。 ☆〇〇さんの話を聞いて、ぼくの考えが変わりました。(……と思いました。)</p> <p>☆〇〇さんとちがって……がよく分かりません。 ☆〇〇君の言いたいことは……ですね。 ☆〇〇さんの話を聞いて、ぼくの考えが変わりました。(……いました。)</p>

## 4 教科書の持ち方

### (1) 立って音読するとき

低学年	中・高学年
○せすじをのばし、本から目を30cmていどはなしてよむ。	○適当な音量、速度で読む。
○元気な声で、はっきりとよむ。	○両手で持って読む。
○本の下の方を、りょう手でもってよむ。	
○ページは、本の下の方をきき手でめくる。	



<低学年の姿勢>

### (2) 腰かけて音読や黙読をするとき

低学年	中・高学年
○本の下を、りょう手でささえてよむ。	○本の下を、両手で支えて読む。
※本をつくえの上におき、かた方の手で本をおさえ、きき手のゆびでもじをさしながらよむときもある。	※本を机の上に置き、片方の手で本を押さえ、鉛筆で文字を指しながら読んだり、印をつけながら読んだりするときもある。



## 5 文字の書き方



### (1) 書くときの姿勢

- 机と体の間は、にぎりこぶしひつ分ぐらいの間隔をとり、背筋を伸ばして腰かける。
- 足の裏を床につけて安定させる。足を投げ出さない。
- 利き手でない手でノートを押さえ、ノートから30cm程度目を離して書く。ひじが机につかないようにする。
- 本はノートの左側に置く。ノートが常に利き手側にくるように、ノートを移動させて書くようにする。

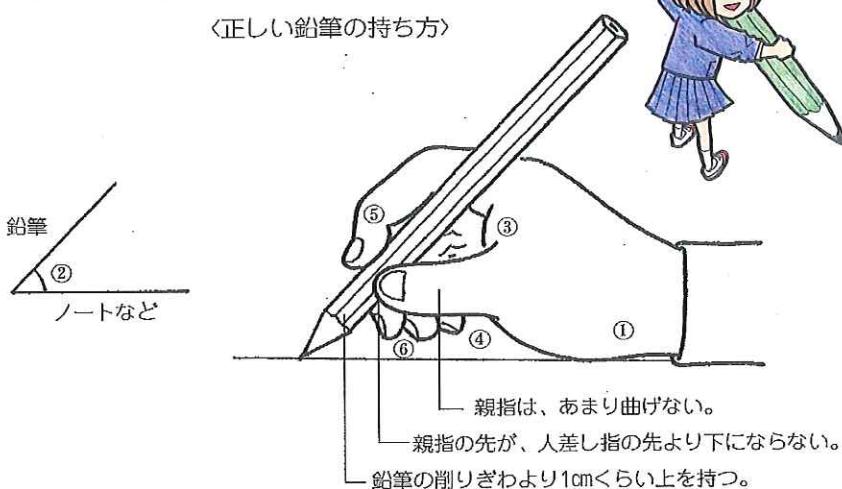


## (2) えんぴつの正しい持ち方

- ① 手首をつくえにつける。
- ② えんぴつがかたむきすぎたり、立ちすぎたりしないような角度で持つ。
- ③ 持った手は、小さな卵をにぎったような形にする。
- ④ 中指・薬指・小指は軽く丸める。
- ⑤ 指に力を入れすぎない。
- ⑥ 中指の第一関節でえんぴつを受ける。

はじめが大事！  
いま ただ も  
今、正しく持てる  
ようにガンバロウ！

〈正しい鉛筆の持ち方〉



## 6 ノートのとり方

- (1) 下じきを入れて、日にちを書く。
- (2) 先生が黒板に書くのと同じ速さでノートに書く。
- (3) はみ出さないノートをつくる。
- (4) とがったえんぴつで見えやすいノートをつくる。
- (5) 大事なことは大きく書く。

<p>1/4倍 四角の面積 課題 ひし形の面積の求め方を考え て、公式をつくろう。</p> <p>見通し 長方形を作る 三角形を作る</p> <p>考証</p> <p><math>4 \times 4 = 16</math></p> <p><math>4 \times 4 \div 2 = 8</math></p> <p><math>4 \times 4 \div 2 = 8</math></p> <p><math>8 + 8 = 16</math></p> <p><math>4 \times 8 \div 2 = 8</math></p> <p><math>4 \times 8 \div 2 = 8</math></p> <p><math>8 + 8 = 16</math></p> <p><math>\downarrow 16 \text{cm}^2</math></p> <p>対角線×対角線 ÷ 2</p> <p>底辺 × 高さ ÷ 2</p> <p>底辺 × 高さ ÷ 2</p>	<p><math>4 \times 4 = 16</math></p> <p><math>4 \times (4+2) = 4 \times 4</math></p> <p>みんなでつくった公式 高さ × 対角線 ÷ 2</p> <p>公式 対角線 × 対角線 ÷ 2</p> <p>練習 ① <math>6 \times 15 \div 2 = 45</math> <math>45 \text{cm}^2</math></p> <p>② <math>7 \times 4 \times 4 = 56</math> <math>56 \text{cm}^2</math></p> <p><math>7 \times 4 \times 4 \div 2 = 56</math></p> <p>お題 ひし形は対角線 × 対角線 ÷ 2で面積 が求められる。 ひし形は正方形の特別な形 だから、正方形も対角線 × 対角線 ÷ 2で求めることができます。</p>
---	--

## 7 授業が終わって

- 終わりのあいさつは、顔を見て「ありがとうございました」とはっきり言う。
- 学習道具を片付ける。
- 次の準備をして、トイレ休憩や大休憩をとる。

## 8 家庭学習の仕方

家庭学習をきちんとすると…

- 今日の授業の整理に役立ちます。
- 次への授業の準備となります。
- 苦手なところが分かるようになります。
- 今日の授業の発展となります。

### 【取り組むコツ】

- ①取り組む時刻を決めておく。
- ②テレビをつけない。
- ③1つやりはじめたらそれが終わるまで、トイレに行ったり、席をはなれたりしないで集中してやる。

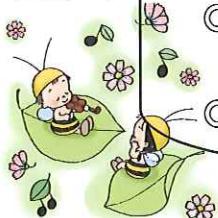
### 【やりかた】

- ①学校の宿題をする。
- ②自分で進んでできる（自主勉強）にチャレンジする。  
☆わからなかつたところは、次の日  
がなら  
つぎ  
必ず先生にたずねるようにしよう！

目標時間 ていがくねん ぶんいじょう 低学年20分以上 • 中学年40分以上 • 高学年60分以上

### こんな自主勉強をしよう！

#### 低学年



- ◎ただしいせいとえんぴつの正しいもち方でかきます。
- ◎音どくは、はっきりとしたこえで、「、」「〇」に気をつけてよみましょう。
- ◎ならったもじは、かきじゅんを正しくかきましょう。
- ◎たしざん・ひきざん・九九は、こえに出してすらすら言えるように毎日  
しましょう。
- ◎しやものがたりは、おぼえて「かたり」ができるようになります。

#### 中学年

- ◎正しい姿勢と鉛筆の正しい持ち方で書きます。
- ◎音読は、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら読みましょう。
- ◎習った文字は、書き順を正しく書き、それを使った文作りをしましょう。
- ◎国語辞典や漢字辞典を使って言葉の意味を調べましょう。
- ◎三角定規やコンパス、分度器を使って図形を書いたり、温度計やはかりなどを正しく使ったりしましょう。
- ◎都道府県名と位置を覚えましょう。

## 高学年

- ◎正しい姿勢と鉛筆の正しい持ち方で書きます。
- ◎音読は、内容を読み取り、自分の思いや考えが伝わるように読みましょう。
- ◎新聞やニュースを見て、自分の感想を持ちましょう。それをまとめてみましょう。
- ◎感想文、説明文、手紙文、依頼文など、相手や目的に応じて書いてみましょう。
- ◎小数・分数の四則計算をしたり、割合や比、単位あたりの問題を解いたりしましょう。
- ◎図やことば、式を使って説明しながら文章問題を解いてみましょう。
- ◎地図や地球儀を使って、地名や覚えましょう。
- ◎今、学習していることを振り返り、新聞作りをしたり、自主ノートにまとめたりしましょう。



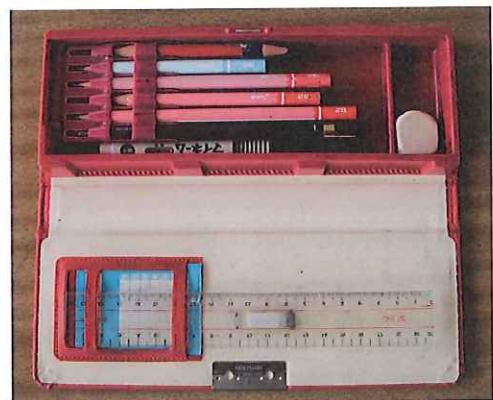
## 9 学習用具の整理の仕方

### (1) ふではばこの中

○えんぴつは、少なくとも5本以上入れておき、名前を書いておく。

○えんぴつ以外に、赤青えんぴつ(赤ペン、青ペン)、消しゴム、15cmくらいのものさしを入れておく。

○えんぴつは、2B、Bを使う。



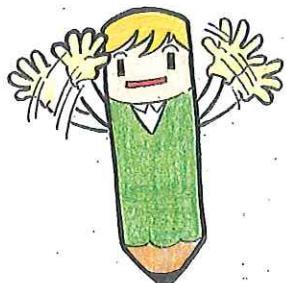
【ふではばこの中】

### (2) 下じき

○1・2年生はこうしつ習用で、無地のものを使う。  
○ノートに文字を書くときは、必ず下じきを使う。

### (3) お道具箱

○のり、はさみ、セロテープ、色えんぴつ、クレヨン、名前ペン等を入れておき、すぐ使えるように整理しておく。



【お道具箱の中】

### (4) つくえの中の整理

○左側に道具箱、右側に教科書・ノート類を時間わり順に置く。  
○使った教科書などは、順に下の方に入れこむ。



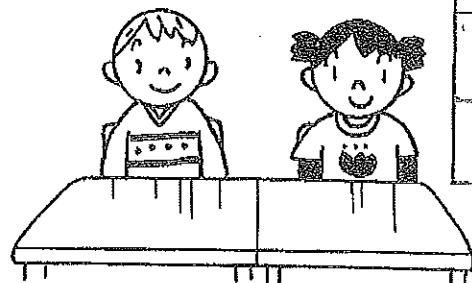
【つくえの中】

## 10 これだけは守ろう、学習マナー

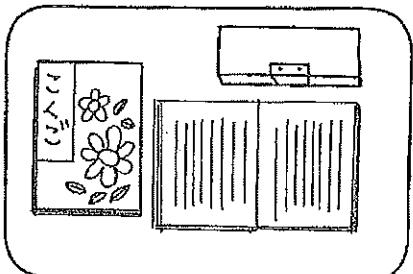
できていたら、○をつけましょう。これから  
がんばることを見つけましょう。

ねん くみ なまえ

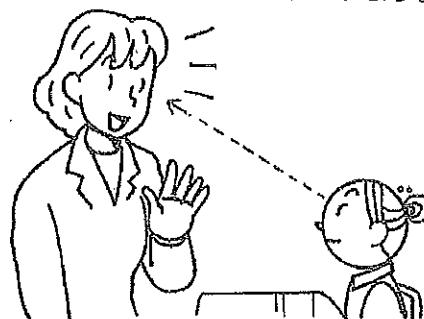
①つくえをせいとんしています。



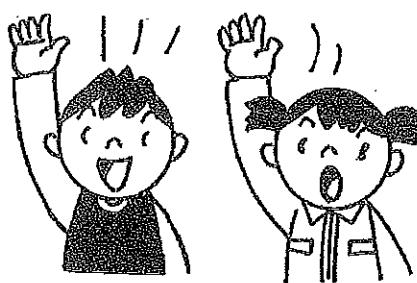
②学しゅうのじゅんびができています。



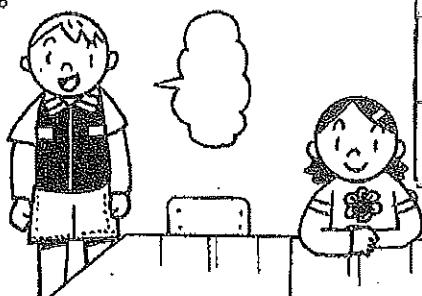
③目を見て、おはなしをきいています。



④まっすぐ手をあげています。



⑤きちんと立って、はつげんしています。



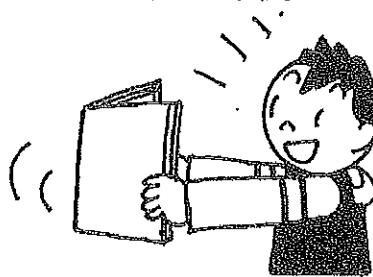
⑥いすをがたがたさせません。



⑦「はい……です」と、おわりまでき  
ちんといけんをいいます。



⑧目のたかさに本をもって、はっきり  
したこえでよんでいます。



あしたから、  
がんばること

